

●農園部会の顔合わせ 4月1日

前号でも紹介しましたが、里山農園に新しい会員さんがご入会いただき、これまで中心を担ってきた森島・大村氏そして里山農園を新しく応援しようという皆さんが集まっていただきました。これまでに中心を担っていただきましたみなさんは、高齢化や体力の後退、妻の体調不調などで多くの主力を失ってきました。その都度、さらに元気を出して勇気を失わず再起を図ってきました。しかし一昨年のササユリ事件以来すっかり自信を無くすことになって、青物栽培のうち春野菜、夏野菜の栽培は特に人手が必要で、収穫時期にはさらに人手が必要です。少人数の担当では体力と根気に限界があり、栽培意欲が失われてきました。その結果年間利益は数万円となり、今年（2018年）の植付けをどのように行うのかと悩み続けてきました。

そこへ、意欲満々の津川さんが参加いただくことになり、少しずつ里山農園を取り巻く雰囲気はよくなりましたはじめました。今回栽培意欲満々の津川さんの参加を得て、心の消極性が吹き飛ばされて、滅入っていたメンバーに新しい力が加わって再度協力して、取り組むことになりました。

提起された副理事長の大村氏の提案資料では、里山農園は里山の会の数少ない活動資金を獲得できる取り組みなので、この原点を生かして、会員減少傾向の中、活動資金の獲得を大きな目標に掲げて活動を進めようと提起がされました。これまで数回の農園部会を重ねましたが、里山の会の活動支援のために財源確保を意識した提起はされてきませんでした。画期的な提起です。まさに新生農園部の大転換を図る提起です。

この呼びかけで、里山の会農園活動の一つは財源確保の活動であると位置付けたもので、一部の人の活動にとどめることなく、今後作業への参加への呼びかけがあれば、全会員が積極的に参加を応じていただくことは、財源確保への努力をお願いすることになります。

どうか里山農園活動にご参加ご協力をお願いいたします。

●会誌44号の再度の原稿募集

いつものことですが、原稿募集の期日を過ぎました、まだまだ不十分であります。再度原稿募集をお願いすることになりました。お手元に準備されている原稿があれば大至急提供をお願い申し上げます。また、それならとお考えいただく場合もありましたら、ぜひともご協力をお願い申し上げます。皆様方のご協力を切にお願いいたします。締め切りはぎりぎりまでお待ちいたしますので、ぜひともお願いいたします。印刷予定日を27日としていますので、メールでの場合は24日5時必着でお願いします。お世話になりますが、よろしくお頼み申し上げます。メールは fddb257@ybb.ne.jp です

●2017年度京都府地域力再生プロジェクト事業支援交付金の年度末の活動報告における決算額は294万円

と報告いたします。今年の主な活動は8月19日に実施しました「京都府子どもの水辺」交流会です。これは台風が来るなど天候が不安定となり、しばしばアクシデントに見舞われました。増水があつて前日までは開催可能と判断していましたが、水位が減少せず水辺体験は危険と判断してカヌー体験などは急遽開催不能で中止せざるを得ませんでした。準備をしてきたものがおじゃんになりました。まさに経費負担が残りました。

自然相手の取組はなかなか難しいものです。次にカスミサンショウウオやオオムラサキの観察会と夜の生き物調べでのお泊り観察会です。7月14日の夜、里山農園の教育棟で実施いたしました。24000匹の昆虫の飛来を確認しました。2歳そこそこのお子さんもご参加いただきました。はじめてにしては大成功でした。

そして竹蛇籠の製作と中聖牛の設置の取組は九州や中国地方、中部地域の方々315人の参加があり、竹蛇籠27の編み上げと、3基の聖牛の組立から設置までを計画して、9月3日から台風の被害を避けながら12月2日に竣工いたしました。長期間にわたる大事業でした。続く里山農園の教育棟の充実では予想を超える激しい雨漏り対策に取り組みました。現在は一滴も漏れなくなり、数々のイベントに威力を発揮しています。

次に「木津川はどんな川」の展示会の開催は、2月12日の宇治市南コミセン、2月18日の八幡市文化センター、2月24日の城陽市北コミセン、3月3日の京田辺市府営団地、3月18日の木津川市山城町のアス

ピアでの5会場で最高の35枚のポスターと竹蛇籠の展示を行いました。各会場での講演会を開き好評を博しました。そのほかに大きな成果は「親子で遊ぼう魚とり」を7回開催、カスミサンショウウオ調査観察では卵囊24個確認がされるなど過去最高の発見となりました。県外研究会では国交省の支援を受けて熊野川での災害現場を視察、紀宝町での防災対策のレクチャーをいただき、山津波、川の増水による浸水などによる災害からの復興事業を学びました。展示会の取り組みでは、山城の歴史と木津川の冊子について大変高い評価をいただきました。さらに展示会は長期間開催がされるのがいいのではないかとこの助言や感想と要望を数多くいただきました。

●親子花見乗船体験と木津川展は8日（日）10時から

過去にない早い時期の開花となった今年の桜です。開催予定の8日には残り桜になり葉桜となりそうですね。それでも予定通り11回目の開催をします。多くの皆様のご協力をお願いいたします。これまで一緒に取り組んできた府営団地連合自治会の皆さんは諸事情によって都合が合わず、里山の会の単独事業となりました。今回で11回目となりますので、何とか継続させたいと考えています。設営は当日8時30分から行います。スタッフ集合は8時30分からです。よろしくお願いいたします。

当日のEボート乗船は摂南大学生の馬城さんをリーダーとして20人の仲間とともにお願いしています。会場の設営は当日朝から行います。同時開催の木津川展は前日の7日午後に予定しています。なお前日の7日の15時にEボートの受け取りに摂南大学に行きます。8日の昼食は里山の会「得意のカレー」を45人分用意いたします。スタッフの皆さんしっかり味わってください。

●春の野草を味わう会14日（土）10時

今年の異常な気候で里山農園の「タラの芽」はどのように成長しているのでしょうか。超高級料理として皆様のお越しを待っていてくれたらと思います。去年はセリが不足していましたが今年はいかがでしょうか春の七草にご参加いただいた石川様は家族そろって、そして鶏を伴ってご参加されます。春の幕開けを里山農園で鶯の声を聞きながら開きましょう。尚この日は名古屋から桜谷保之先生もご出席いただきます。昆虫や植物の探検も行います。午後からもご参加のつもりでお越しください。まさに里山農園の歓待がぎっしり詰まった一日になりそうです。

●2018年度の木津川希少種植生調査管理業務の委託通知が到着

実施契約書の提出用紙が送付されました。何とか始めた木津川希少種植生調査業務が終了したと思っていましたら、新年度の契約への取り組みが始まりました。8400㎡で27カ所の希少種生育調査業務とその保存管理のための除草作業14000㎡で、27カ所の調査となります。除草は約10日間の作業となり、刈草の集積は5日間が必要です。一日に3人から5人での作業となります。どなたでもご協力をいただける作業なので、ご参加ください。堤防の傾斜がありますので、スパイクのついている長靴をご用意ください。またヘルメットの着用をお願いします。この二つは必需品なので購入をお願いします。購入経費は里山の会が負担いたします。

●夏原グラントの選考結果

が届き、昨年に引き続き助成金20万円が決定されました。贈呈式は4月14日（土）10時から草津市で実施されます。里山の会からは大村副理事長が参加の予定をしています。

●里山の会初めて花見の会実施

4月4日の正午から2時、京田辺市花見山公園に14人が集合。この日は新年度の最初の事務局会議で、午前9時30分に一応一通りの出席メンバーが揃いました。議題は前回会議の強調点の確認、そして農園の運営についてもふりかえりました。議題に移り、1日に実施されたメンバー6人の顔合わせ会の報告があり、これまでの経過を確認しました。